



今年も残すところあと1ヶ月となりました。第3号は各地区で行っていることを報告します。

大島・久賀地区

大島・久賀地区では今年度新しくなった教科書システムの入力マニュアルの作成と、理科教科書の年間計画に沿った必要物品一覧を作成中です。それぞれの単元に必要な消耗品・備品を掲載するだけでなく、備品については町内でどこの学校が保有しているかを掲載し、備品の有効活用にも役立つ資料を作成予定です。次年度以降も他の教科について継続して研究予定です。教員が児童・生徒と向き合う時間の確保のため、研究推進中です。



橘地区



○町会計予算要求書の統一化についての取組

町会計予算は各学校がそれぞれ要求しますが、町内での学校間格差がないよう統一した基本線を示すことや、作業の効率化が図られるような予算書を作成することが必要だと考えました。そこで今年度は、予算要求書の記載例の検討をしました。また、町内事務担当者で予算要求について情報交換し、統一した方がよい項目の共通理解を図りました。これらのことによって、保護者負担についての町内格差が少なくなることを期待しています。今後、要求事務をおこなってみたいの疑問点・問題点等を取りまとめ、改善をしていきたいと考えています。

○給与・旅費事務の相互確認、事務支援についての取組

年間を通して、給与・旅費・諸手当関係事務等の相互確認・審査や、事務職員未配置校や若年事務職員の学校事務支援を行うことにより、正確で質の高い事務が提供できるよう努めています。

東和地区

1. 昨年度に引き続き「町会計事務の手引き」の改訂を行っています。昨年度大幅に改訂していますので、今年度は賃金の改定や事務処理の留意事項などが主な改訂部分になりますが、実際の事務処理に沿った内容になるよう、費目ごとに分担して作業を行っています。3学期には町教育委員会の担当の方に見ていただき、その後手引きの追録をお届けする予定です。

2. 給与事務・旅費事務・福利厚生事務などの書類について、相互審査を行っています。東和地区は事務職員未配置校の教頭先生、新規採用2年目3年目・臨時的任用の事務職員と経験年数の浅い方が多いので、その都度分からないところを質問したり、情報交換を行ったりして、間違いのない適正な事務処理を心がけています。

3. 和田小学校と森野小学校が統合します。和田小学校の多くの備品が他校に移管されることとなります。和田小学校の現有備品の確認や移管に伴う備品データの処理など、備品関係の事務処理について連携して行っていきます。



学級会計どうしていますか？

適正な処理って??

先生方が処理をする会計の一つに「学級会計」があります。保護者からお預かりする大切なお金ですが、その取扱いは繁雑で気を遣うことも多々あります。また、「適正な処理を」と言われますが、実際にどのようになればよいのだろうかと思われている方もあるのではないのでしょうか。

私たち学校事務職員は会計を取り扱う機会が多いので、学級会計にも「効率化」や「負担軽減」などの支援ができないかと考えて試みている学校がありますので、その実践例を紹介します。

小学校の主な現状

- ・授業計画に合わせて、随時教材を注文する。
- ・購入した教材の価格そのものを、毎月現金で集金する。
- ・各学期末に、業者への支払いと保護者への会計報告を行う。

中学校では、年度当初に学級会計の集金計画を立てているという話を聞き、小学校でも取り入れられることはないだろうかと考えました。

中学校の主な現状

- ・年度当初に、1年間の教材購入計画を立てる。
- ・校納金（PTA会費や生徒会費）・教材費・修学旅行積立を合計し均等割で集金する。2月に精算。
- ・会計担当の先生が業者に随時支払い、年度末に保護者へ1年間の会計報告を行う。

※年度初めは大変忙しいけれど、年間を見通すことは、教材の必要性を熟考する機会になるのでは…。

実践例 1

- 4月に1年間の購入予定をたてる。
(図工・理科・生活教材等はおおよその金額)
- 保護者には、教材購入予定一覧をつけて学級費納入依頼文書を学年ごとに出す。
- 毎月の集金額は1,000円や500円といった、きりのいい定額にする。2月に精算。
- 業者への支払いは、学期末処理の忙しい時期をはずす。
- 保護者への会計報告は、年度末の1回のみ。

実践例 2

- 4月に1年間の購入予定をたてる。
(図工・理科・生活教材等は前年度並みの金額)
- 保護者には、購入品の予定一覧は示さず、昨年度実績を基にした集金計画である旨を記して納入依頼文書を出す。(全校同一文書)
- 毎月の集金額は1,000円や500円といったきりのいい定額にする。(全学年金額を統一し、学年に応じて12~2月で精算)
- 保護者への会計報告は、学期ごと。
(購入品を知らせるという意味も含めて)

よかったこと



保護者や子どもたちは…

- ・きりのいい定額だと、細かい金額を用意する手間がない。
- ・ランドセルの中に硬貨を落とす等の紛失例が少なくなる。

先生方は…

- ・毎月の集金額を計算しなくて済む。
- ・集金袋の中身が確認しやすい。
- ・忙しい学期末を避けて、業者への支払いができる。

先生方が子どもたちと向き合う時間が少しでも増えるよう、共同実施でも学級会計の支援などに取り組みたいと思います。

お気づきやご意見がありましたら教えてください。一緒に考えていきたいです。



【担当】橋地区